

RonaCare VTA

(ロナケア VTA)

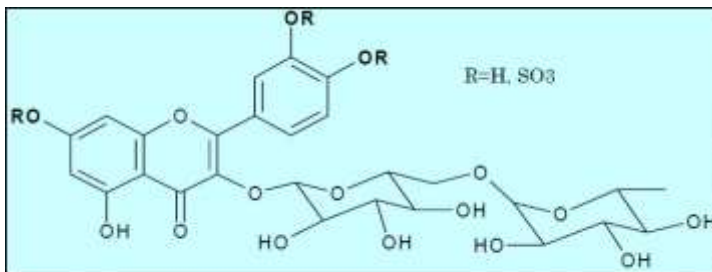
リポソーム化で容易に配合できるルチン誘導体

【特徴】 ビタミン様フラボノイドの誘導体
ヒアルロニターゼの活性抑制
皮膚の保湿、生理改善に効果を発揮

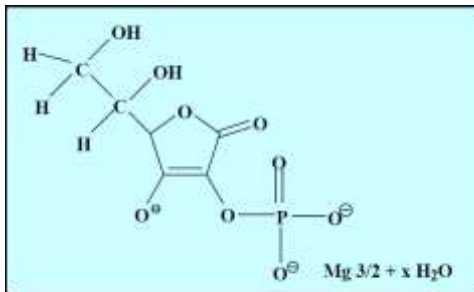
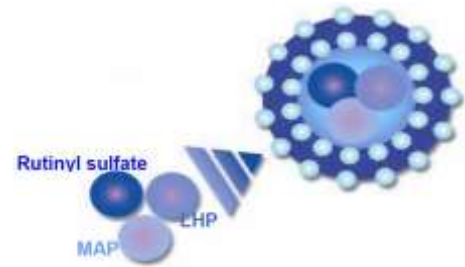
【コンセプト】

ルチンは、抗酸化・抗アレルギー剤としても長きに渡り知られるビタミン様の天然フラボノイドです。

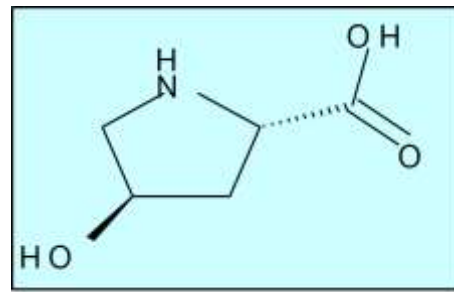
RonaCare VTA は、ルチンの誘導体であるルチニル二硫酸 2 ナトリウム(ルチン誘導体)を含有しており、ブラジル原産の Fava d' Anta を由来としています。また、化粧品としての効果を強化する為、アスコルビン酸マグネシウム (MAP) と L-ヒドロキシプロリン (LHP) を配合しております。



ルチニル二硫酸 2 ナトリウム(Rutinyli Sulfate)



リン酸アスコルビルマグネシウム(MAP)



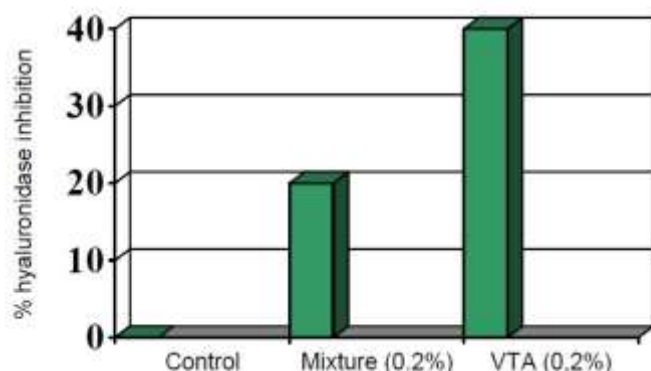
L-ヒドロキシプロリン(LHP)

RonaCare VTA は、リポソームに包括された、ルチン誘導体、MAP および LHP からなり、①分解酵素の活性を抑制し、②硫酸化グルコサミノグルカンの防御および強化を担うことで、皮膚の保湿、生理改善に効果を発揮する、アンチエイジング原料です。

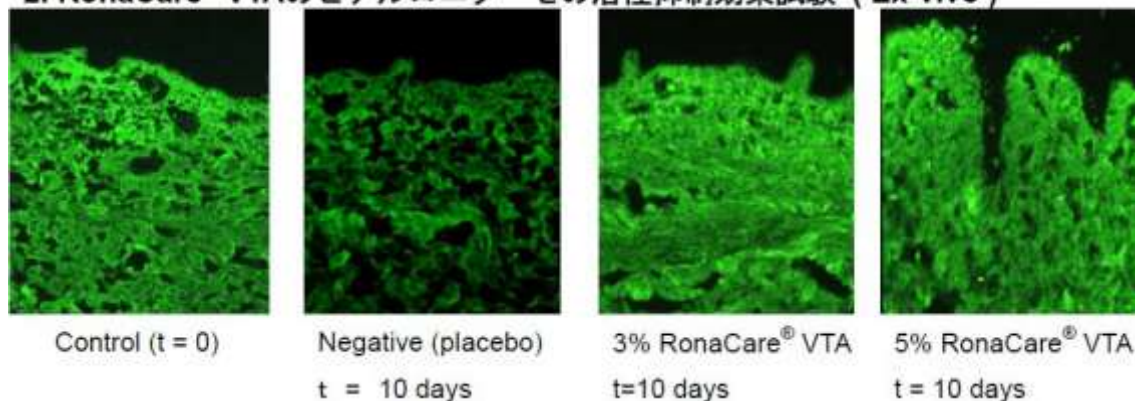
【効果・効能】

ヒアルロニダーゼの活性抑制効果試験

1. RonaCare® VTAのヒアルロニダーゼの活性抑制効果試験(in vitro)



2. RonaCare® VTAのヒアルロニダーゼの活性抑制効果試験 (Ex-vivo)



・**in-vitro** では、無添加系に比べ、RonaCare VTA(0.2%)の系は、約 40%のヒアルロニダーゼ活性抑制効果が確認できました。また、Mixture(0.2%)*と比較しても、リポソームの効果により、約 2 倍の酵素活性抑制効果が確認できました。

・**Ex-vivo** では、無添加系に比べ、RonaCareVTA(3~5%)の系は、酵素活性によるヒアルロン酸の減少度合いが軽減されております。

* Mixture: ルチン誘導体、MAP、LHPを単純混合したものの。

【商品情報】

商品名: RonaCareVTA(ロナケアVTA)

表示名称: ルチニル二硫酸2Na、ヒドロキシプロリン、リン酸アスコルビルMg、トコフェロール、
パルミチン酸アスコルビル、ステアリン酸グリセリル、オレイン酸グリセリル、
クエン酸、レシチン、エタノール、水

推奨配合量: 3%-5%

製造元: メルクパフォーマンスマテリアルズ合同会社

サンプル提出の際には、覚書締結をお願いしております。

2009/9/1

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしているものであり、
効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。

 株式会社 **マツモト交商**
www.matsumoto-trd.co.jp